

IPRally：グラフAIが特許調査の常識を変える——審査官の思考を再現する次世代IPプラットフォーム

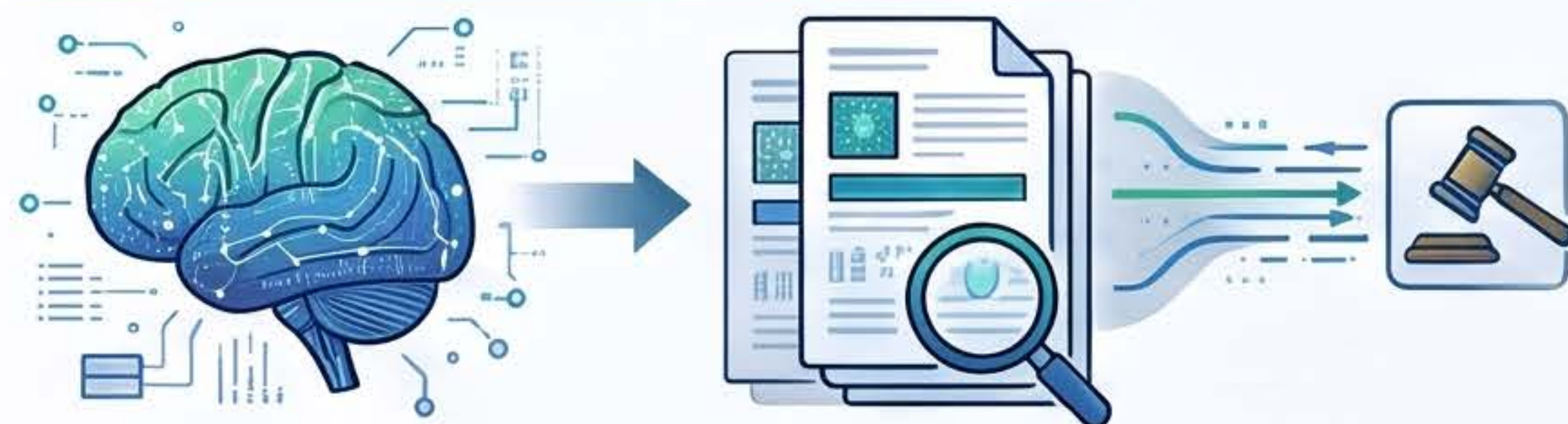
独自の「グラフAI」による技術理解の変革

特許を「構造」としてモデル化



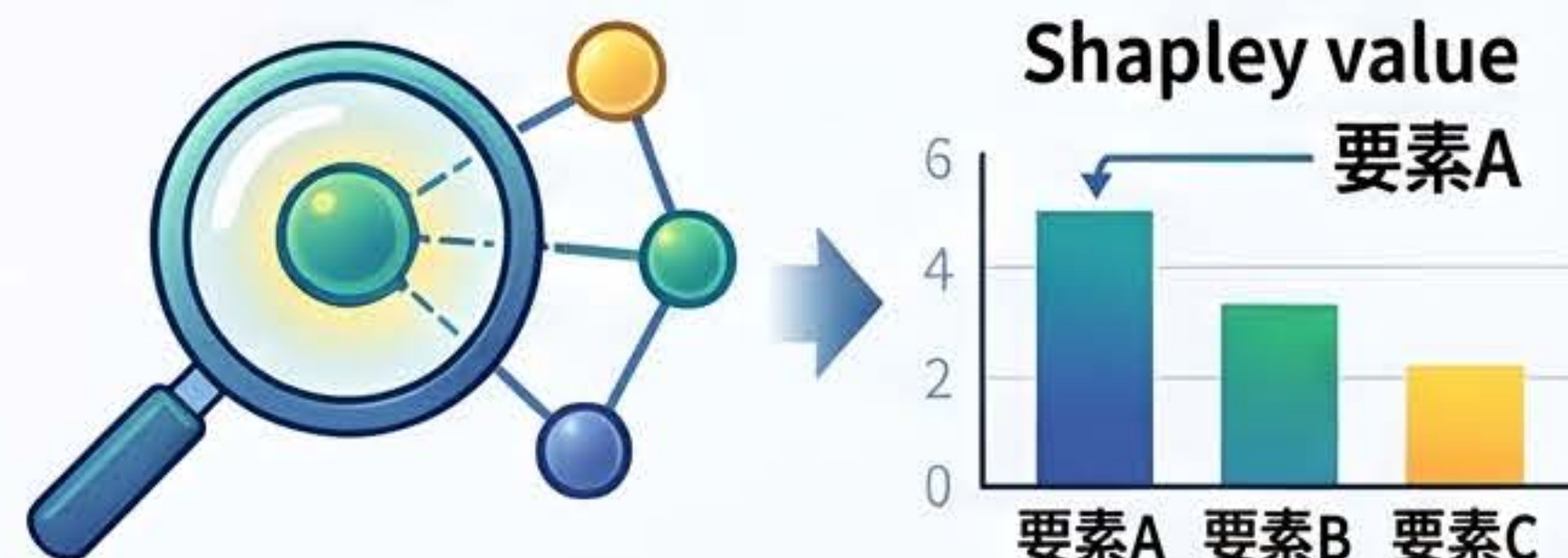
明細書を技術要素（ノード）と相互関係（エッジ）のグラフ構造として解析します。

審査官の判断ロジックを再現

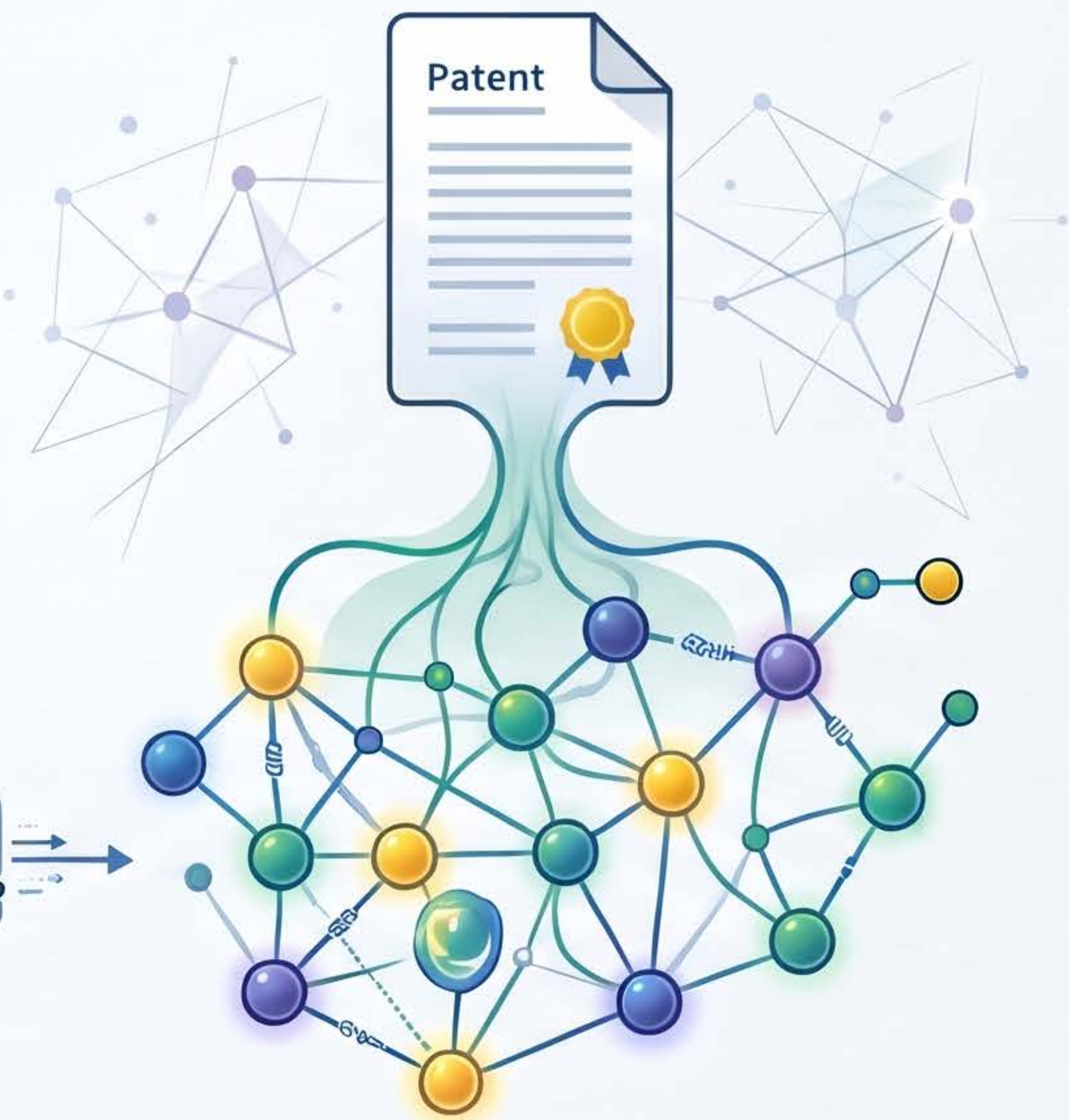


数百万件の審査官引用データを学習し、プロの実務判断を高精度に再現します。

ブラックボックスを解消する説明可能AI



Shapley値に基づき、AIがどの技術要素に注目したかを視覚的に明示します。



オプション


新規性・特許性調査：
検索漏れのリスクと手間
を解消、調査時間を50～
75%削減

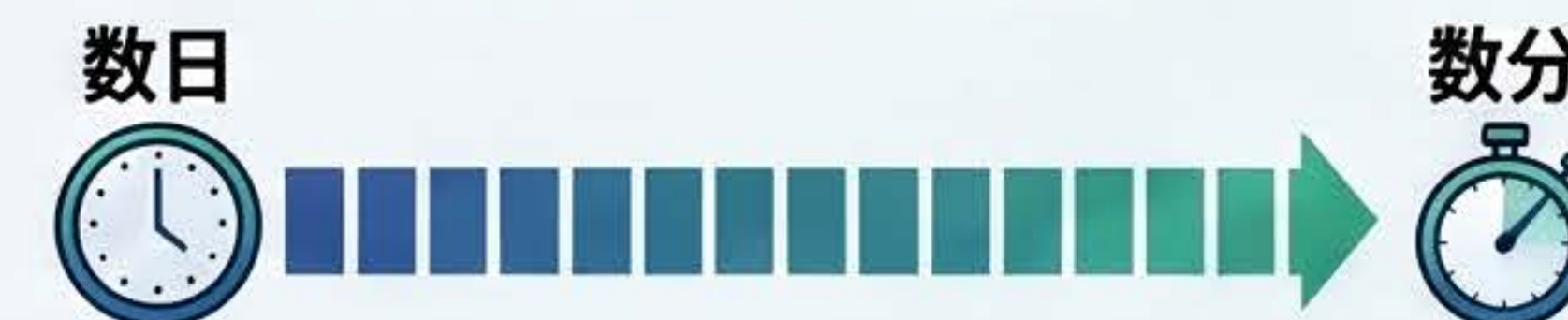

侵害予防調査 (FTO)：
膨大な労力とリスク判断
を軽減、調査時間を50%
削減し判断を迅速化


無効資料調査：
異分野の類似構造の発見
に貢献、従来の検索では検
出不能な重要文献を抽出

実務における圧倒的な導入効果

調査時間を最大75%削減

75%削減



数日を要していた特許性調査を数分に短縮し、業務効率を劇的に向上させます。

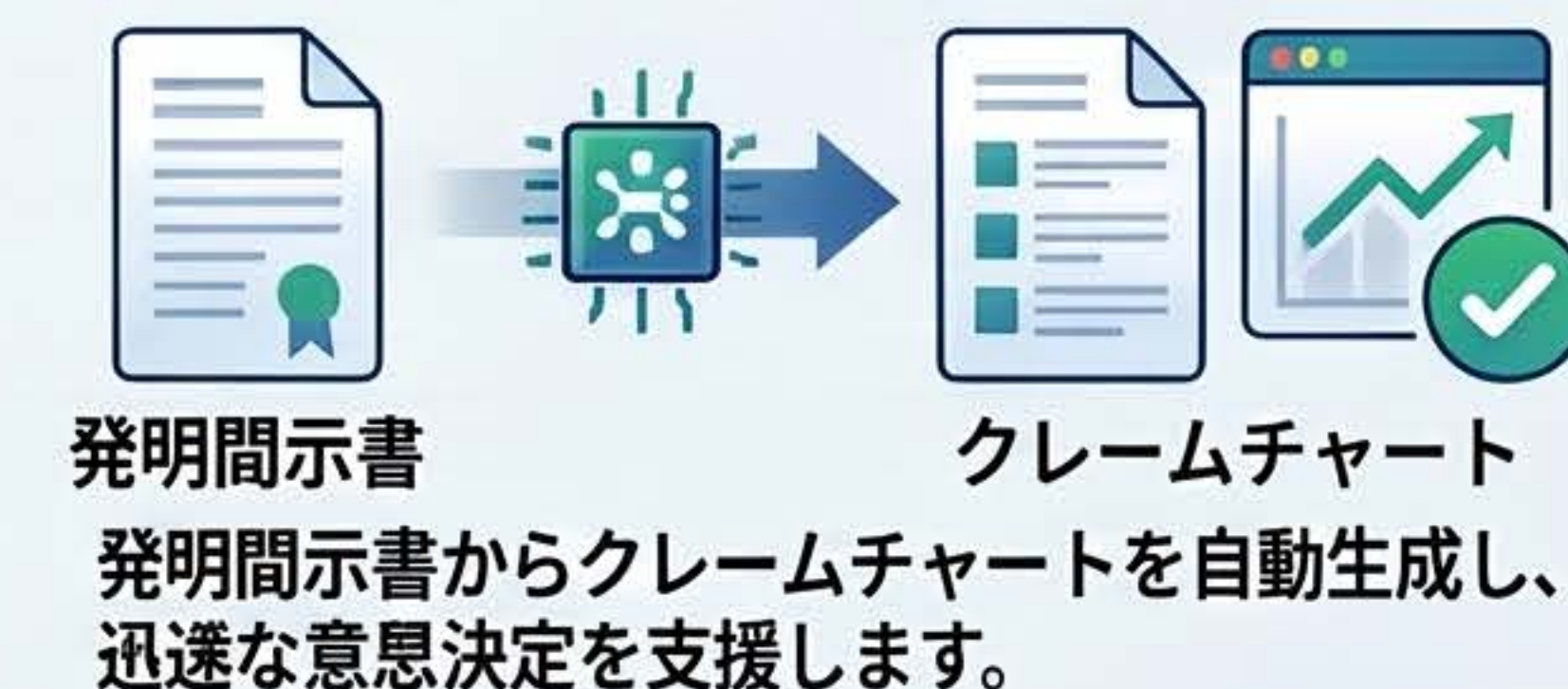
少ない確認件数で高い網羅性を実現



最新モデルにより、上位10件の精査だけで重要な先行技術を実際に精査します。

出願判定を「数週間」から「数分」へ

数週間 → 数分



発明開示書からクレームチャートを自動生成し、迅速な意思決定を支援します。